

施策マネジメントシート ～令和5年度の振り返りから令和6年度の取組へ～

①計画⇒実施 (Plan⇒Do)

(5月中に記入)

長期振興計画の位置づけ	まちづくり分野	しごと分野	担当課	経済観光課			
	政策分野	地域産業	課長名	松元 明和			
	施策	12 観光・交流の振興		重点施策の該当	R5	-	R6
施策の目的	対象	観光事業者、観光客	意図	地域の魅力を知ってもらい所得を増やす			

施策の目標指標

目標指標(単位)	指標の推移(下段の()書きは見込み値)					
	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標
種子島への船による入込数(離島カード利用者以外)(人)	67,101	75,340	98,360	123,400 (130,000)	(135,000)	(140,000)
宿泊者数(人)	50,697	62,630	77,271	108,660 (72,000)	(74,000)	(76,000)

市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

令和3年度実績		令和4年度実績		令和5年度実績		令和6年度実績		令和7年度実績	
重要度(%)	満足度(%)								
79.6	17.2	81.6	18.0	76.7	13.4				
重要度DI	満足度DI								
77.3	-16.1	79.0	-17.2	72.3	-24.1				

施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連戦略No.	成果指標(単位)	指標の推移(下段の()書きは見込み値)					
			2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度目標	7年度目標
観光施設の整備	8-15 8-16	観光施設・環境の整備・修繕件数(箇所数)	2	1	1	5 (1)	(1)	(1)
観光誘客活動の推進	8-15 8-18	種子島への船による入込数(離島カード利用者以外)(人)	67,101	75,340	98,360	123,400 (130,000)	(135,000)	(140,000)
観光誘客活動の推進		宿泊者数(人)	50,697	62,630	77,271	108,660 (72,000)	(74,000)	(76,000)
交流事業の推進	8-15	交流者(イベントなどによる来島者)(人)	110	160	88	1,366 (950)	(1,000)	(1,050)
交流事業の推進		民泊人数(人)	0	0	0	36 (430)	(440)	(450)
文化歴史資源を活用した観光の推進	8-15 8-17	鉄砲館の入場者数(人)	13,376	13,544	20,577	21,971 (23,000)	(28,000)	(30,000)
文化歴史資源を活用した観光の推進		古民家(月窓亭など)の入場者数(人)	3,519	3,411	5,609	6,216 (8,000)	(10,000)	(12,000)
文化歴史資源を活用した観光の推進		歴史的観光ルートの設定(累計)	-	-	0	2 (3)	(3)	(4)

②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応	
<p>観光庁の旅行・観光消費動向調査によると、2023年の国内延べ旅行者は4億9,733万人とコロナ禍前の2019年5億8,710万人と比べ15.3%の減であるが、国内旅行消費額は約21兆9千億円とコロナ前の2019年と同程度に回復している。訪日外国人消費動向においても、訪日者数は2019年比21.4%の減であるが、円安の影響から消費額は10.2%増加している。今後、本格化していく観光業にあって、円安傾向が継続して中で、訪日外国人対策が優先事項となっていくことが予想される。本市に関しては、馬毛島や西之表港整備工事の影響から、交通・宿泊事業に対する利用が増加する一方、純粋な観光客の受け入れ環境に問題が生じている。お土産・観光サービス業において観光客の利用者が減少することに対し、工事関係者の利用促進を図りつつ、将来の観光業の在り方に対し、関係機関・団体との協議を重ねていく必要がある。</p>	
施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題	
成果	<p>観光施設の整備については、観光庁の観光施設高付加価値化事業を推進し、複数の事業者が整備を進めた。また、南部観光ルートの整備計画を定め、太田へゴ自生群の休憩所、東海岸の休憩所の整備準備を進めた。海水浴場の運営に関しては荒天時が多く減少した。観光誘客活動の推進については、JALLと連携した観光PR情報発信の強化に努め、効果的なPRができた。コロナ禍明けということで、鉄砲祭り等各種イベントを4年ぶりに開催することで観光PRと市内の賑わいづくりに繋がった。観光協会等、関係団体への事業支援を通じて、星空観光等、新たな観光コンテンツの開発を行った。地域支援課と連携し、インバウンド推進の切り口として、ヨガイベントを実施した。交流事業の推進については、4年ぶりにグリーンツーリズム受け入れを行った。一方で、受け入れ家庭の高齢化等、体制強化が必要。文化歴史資源を活用した観光の推進については、鉄砲伝来480周年事業の実施を通して、本市の歴史文化を生かし、火縄銃保存会との連携強化を図った。</p>
現状・課題	<p>観光において、国内が円安基調を背景としたインバウンドへ力を入れている中、本市での受け入れ体制は脆弱であり、実績も乏しい。訪日客が訪れやすい環境形成を進める必要がある。また、馬毛島工事関係者が減少する時期に対して、スムーズな観光客確保ができる展開を構築しておく必要がある。既存リソースの活用と併せ様々な主体との協力・連携による推進が必要である。</p>

施策マネジメントシート ～令和5年度の振り返りから令和6年度の取組へ～

今後の方向性	今後の方向性の根拠等(他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入)
拡大・充実	様々な課題と併せ収益機会も多く、状況に応じた施策の展開が必要である。一方で、5年程先の状況は多くの人が心配しており、環境が大きく変わることを前提とした観光環境整備、仕組みづくり、情報発信を今のうちから強化する必要がある。

(6月中に記入)

今後の方向性	政策部会で出された施策に対する意見等(将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など)
拡大・充実	【産業振興部会】 施策担当課の記載する方向性のとおり。